

「ホームステイ事業研修会」を実施いたしました。

埼玉県国際交流協会では、外国の方を身近に感じ、外国の文化を直接知っていただく機会、また外国の方が日本を身近に知っていただく機会として、ホームステイ事業を行っております。さらに、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、県内でも4競技の会場となっているため、ホームステイを通し、気運を盛り上げる絶好のチャンスでもあります。このようなことから、ホームステイボランティア登録家庭向けの研修会を実施いたしました。

実施日：令和元年10月1日（火）

会場：浦和合同庁舎 5階 第5会議室

参加者：19名

スケジュール：

時間	内容	詳細
10：00～10：05	開会あいさつ	主催者挨拶
10：05～10：15	ホームステイ事業概要の説明	事業実施方法について 受入の際の注意事項 協会からのお願い 等 (※資料：ホームステイ事業概要)
10：15～11：00	外国人講師による異文化理解ミニ講座	講師：マシータ ユノス コグレ氏 日本とマレーシアの文化や習慣の違いについて、自身の経験を基にお話いただきました。 お話の後は、皆さんからの質問にお答えいただきました。
11：00～11：50	ホスト交流会	各グループで、自己紹介を交え、ディスカッションを行いました。 ・ステイ中について（1日の過ごし方） ・ステイ後の付き合い方について
11：50～12：00	質疑応答と今後実施のホームステイについて	全体を通しての質疑応答とアンケートのご記入をしていただきました。 11月9日（土）～10日（日）外国人留学生ホームステイについて、ご案内をいたしました。

【外国人講師による異文化理解ミニ講座】

講師：マシータ ユノス コグレ氏

マレーシア出身。33年前に来日し、日本での出産と子育てを経験。ツアーコンダクターのお仕事で、マレーシアからの観光客に日本の案内をしている。自身も海外からのゲストを、ホームステイで迎えた経験がある。

<異文化理解講座内容>

マレーシアは多国籍の国。マレー系、インド系、中華系それぞれの文化が混ざり合った国。大切なことは、国籍、言葉、文化、肌の色が違って同じ人間で同じ地球人だということ。

マレーシアと日本は国が違うが同じアジア圏なので文化が似ていることもある。ただ、マレーシア人は日本のルールを知らないし、わからない。それでお互いが嫌な思いをしないためには、ルールを教えてあげる必要がある。特にホームステイの場合は、その家のルールもあると思うから、きちんと伝えるべき。日本人の「遠慮」は伝わらないし、「陰で言う」ということはしないように。お互いに気持ち良いことではないと思う。ダメな事だったら、はっきり言うこと。でも分からない事もたくさんある。箸の使い方、畳の部屋の使い方、トイレの使い方など、分からないことは教えてあげてほしい。ゲストはお客様ではなくて、(年齢に関係なく)自分の子供だと思って接すると思う。

マレーシア人の特徴について。写真を撮ることは世界中のどの国の人より好きだと思う。日本の伝統的な文化や和のもの(着物姿や漢字やひらがなの文字が入った看板、日本庭園など)と一緒に写真を撮ってあげると喜ぶ。また、触れ合い(例えば、和食を味わう、日本の建造物を見る、着物に触るなど)体験はとても喜ぶし、感動する。そして、マレーシア人は、YES・NOがはっきりしている。さらに、自分のことは自分でというのが基本的な考え方。

※日本に住んでいる外国人として、感じていること。また、ご自身がホームステイの経験もあることからホスト側、ゲスト側、両方の観点から異文化理解を伝える内容となりました。



【質疑応答】

Q 家の近所に有名な神社があるが、宗教の信仰がある方をお連れしても良いものか？

A 神社やお寺の説明をされても、正直良く分からない。細かいことは言わなくとも、楽しんでもらえば良いのではないだろうか。ただ、国によっては、細かいところまで知りたいゲストもいるので、応えられるように調べておくと良いかと思う。

Q ムスリムの方への食事提供で注意することを教えて欲しい。

A 豚肉とアルコールは口にしない。日本食には料理酒やみりんを使うものが多い。そのまま出されてしまうと、口にすることは出来ないの、煮物は砂糖とちょっと高いけれど丸大豆しょうゆ（アルコール成分が入っていない醤油）を使うと良い。見た目が日本食であれば十分！肉がダメなら魚を用意すれば良い。焼き魚とご飯、ほうれん草を茹でたもの、大根おろしがあれば、立派な日本食に見える。あとは、天ぷらがとても好き。エビや魚をたくさん用意しなくても、イモや野菜の天ぷらでも十分。

もう一つは、売っているお菓子には、ショートニング、マーガリンなどがある。これは食べることが出来ないの、注意して欲しい。ただ、「大豆由来」「大豆を含む」という表示があれば、食べることができる。こういう表示であれば食べられるよと、写真で取ってあげて教えてあげると、今度は自分でも買うことが出来るので、そうやって教えてあげて欲しい。

【グループディスカッション】

今回は参加者を3グループに分け、ディスカッションを行いました。事前にホストから挙げてもらったディスカッションテーマを基に、各グループでお話をしていただきました。テーマは「ステイ中について（ゲストとの過ごし方）」「ステイ後の付き合い方について」の2つを話し合ってもらい、最後に各グループで話し合ったことについて発表してもらい、参加者全員で共有をしました。

<ステイ中について（ゲストとの過ごし方）>

- ・外出せず家の中で過ごす（自分の予定に合わせて付いて来てもらう）
- ・日本の四季を感じてもらう（近くの景色、自然を感じてもらう）
- ・本人の好きなこと、ものを聞いて対応をする
- ・ゲストの国、年代により行動が異なるので、接し方を変えてあげる
- ・プライベートの配慮はどうすれば良いかと迷うこともある
- ・ホストファミリーとしての経験の積み重ねは大切（経験から得るものが多い）
- ・駅から自宅まで一緒に歩いてみる（近所の説明にもなる）

<ステイ後の付き合い方について>

- ・気の合う方とは付き合いを続けられたい
- ・相性が合えば長く続く
- ・手紙を送って交流を続けている
- ・メールを送る、SNSでやり取り
- ・イベント（お祭り）があったら誘う
- ・お互いの相性というものもあるので、その場限りの付き合いもあると理解する

【外国人講師からのアドバイス】

ステイ中の過ごし方について、「〇〇に行きたい」「〇〇したい」という希望がでると思うが、ゲストが友達と出来ることは、友達とやらしてもらえば良い。それよりも、日本の家庭体験、一緒に散歩する、料理を作る、家族と話すなどをした方が、思い出に残るはず。

また、プライベートの問題は、日本のその家庭のルールをきちんと説明をすれば良い。マレーシアは全ての部屋に鍵が付いていることが多いけれど、日本は地震などの災害も多いので、何かあった時に助けてあげられないから、安全のため、安心のため（部屋に鍵は付いていない）と、教えてあげると分かってくれるのではないかと思う。

ステイ後の付き合いは、気が合えばずっと繋がると思う。ゲストの親や家族（結婚、出産など）との付き合いも生まれる場合もある。メールや SNS で今は手軽に繋がれるけれど、そういったメッセージは消してしまうこともあるから、やはり手紙を送ることは良いと思う。手紙や写真は思い出に残るもの。思い出は忘れることはない。一生の宝物になる。